



「高度医療・人材育成拠点（新病院） 基本構想」に関するアンケート結果

令和5年7月

広島県 健康福祉局 医療機能強化推進課

実施概要

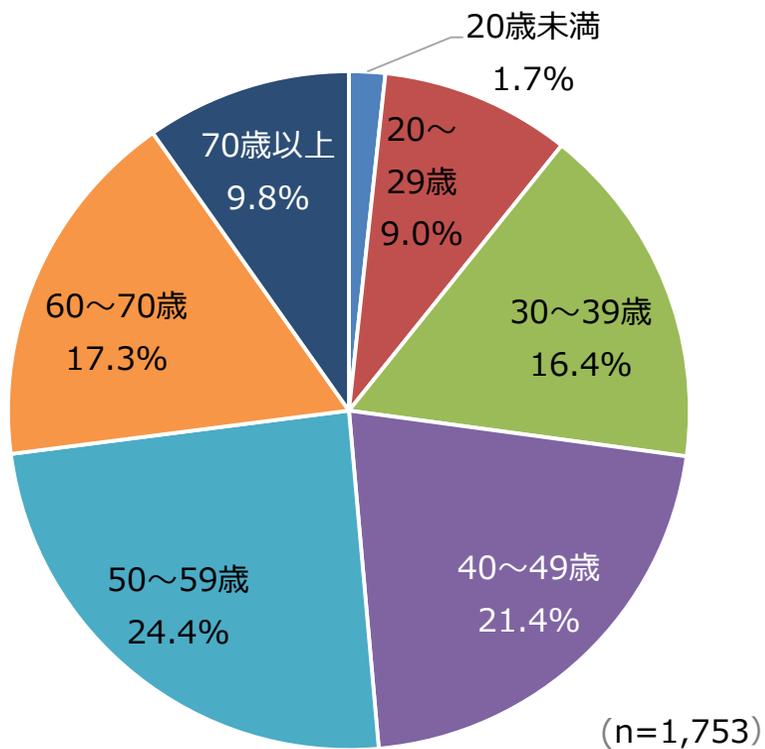
目的	県立広島病院移転後の地域の医療体制や跡地活用について検討するため、幅広く意見を聴取する。	
対象者	実施方法	回答数 (うち南区居住者の回答数)
広島市南区を中心とする 県内居住者	・ マクロミル社（東証プライム上場（3978）のインターネット調査会社）のモニター会員を対象としたインターネット調査	1,537（474）
その他	・ 紙媒体による調査票を県立広島病院、南区役所、南区内の公民館（7か所）に配架	216（141）
計		1,753（615）
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・ 県立広島病院移転が検討されていることへの認知度・ 県立広島病院が移転した場合に必要な医療環境・ 県立広島病院周辺のまちづくりの観点からの課題（移転した場合にどのような環境となることを望むか）・ 県立広島病院が移転した場合に生活に与える影響 など ※ 「高度医療・人材育成拠点」（新病院）のねらい、整備概要、Q & Aをわかりやすく説明したリーフレットを添付。	
実施時期	<p>（インターネット調査）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和5年6月5日（月）～7日（水） <p>（紙媒体調査票による調査）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和5年6月2日（金）～16日（金）	



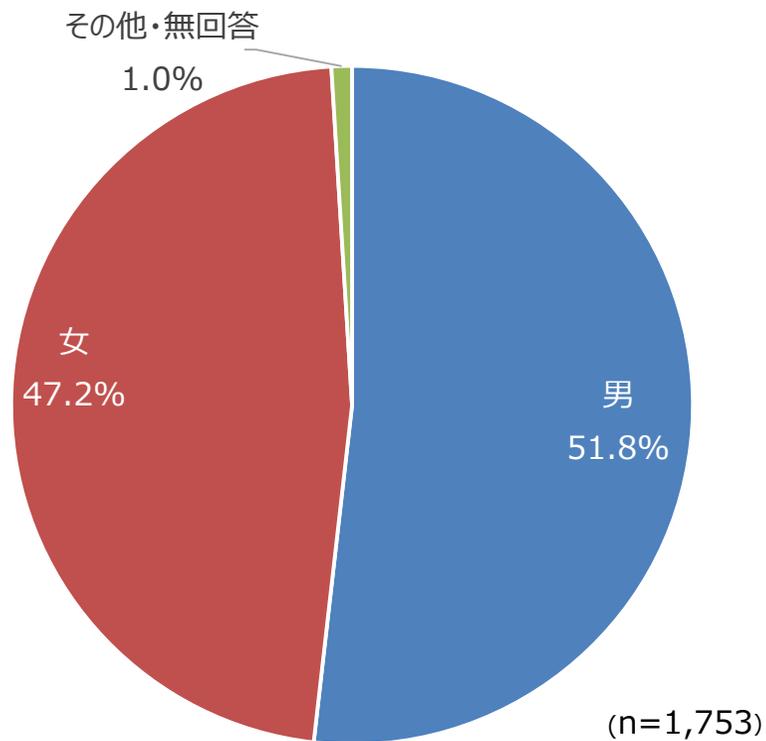
元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

回答者属性

年齢



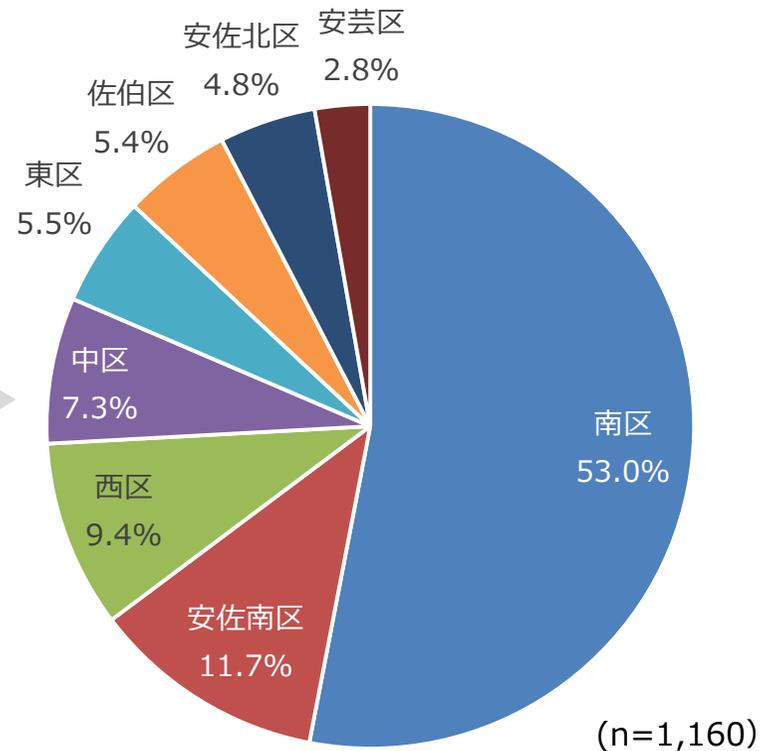
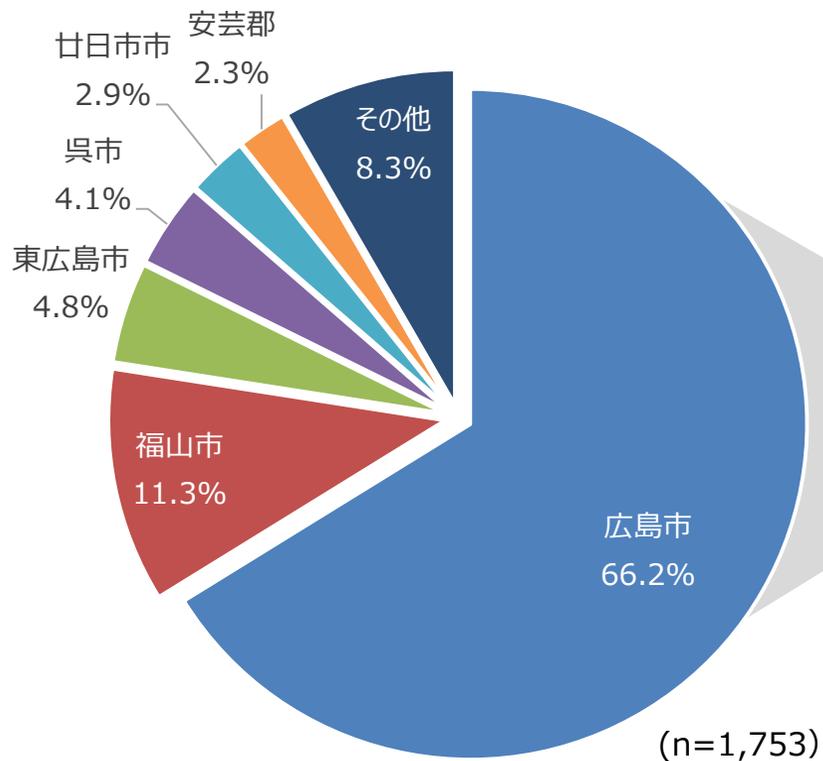
性別



※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある（以下同様）

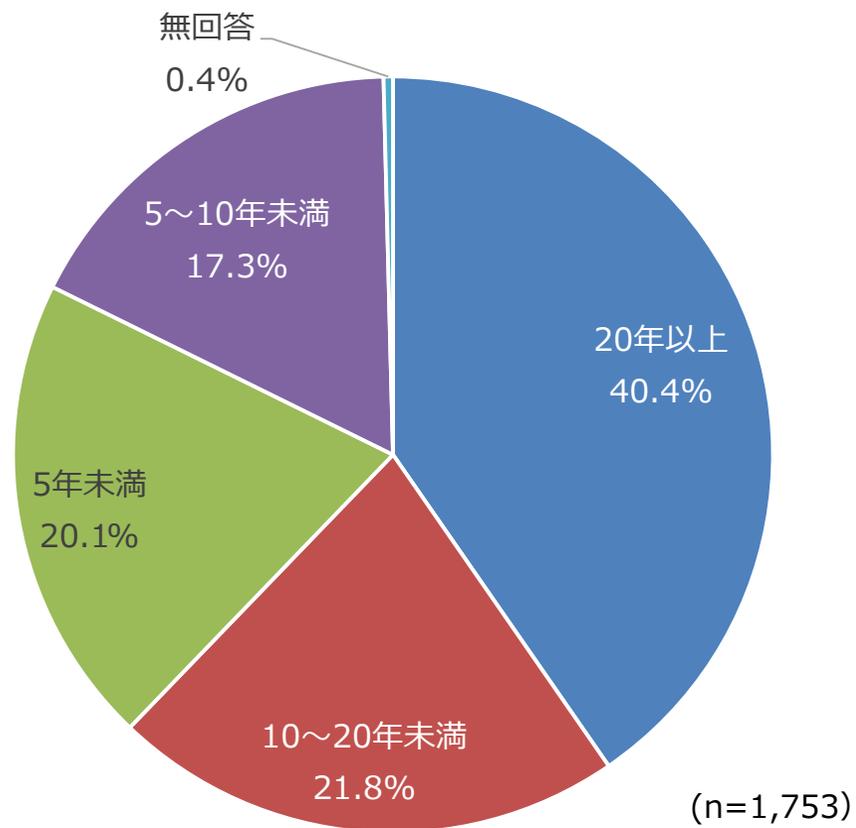


居住地



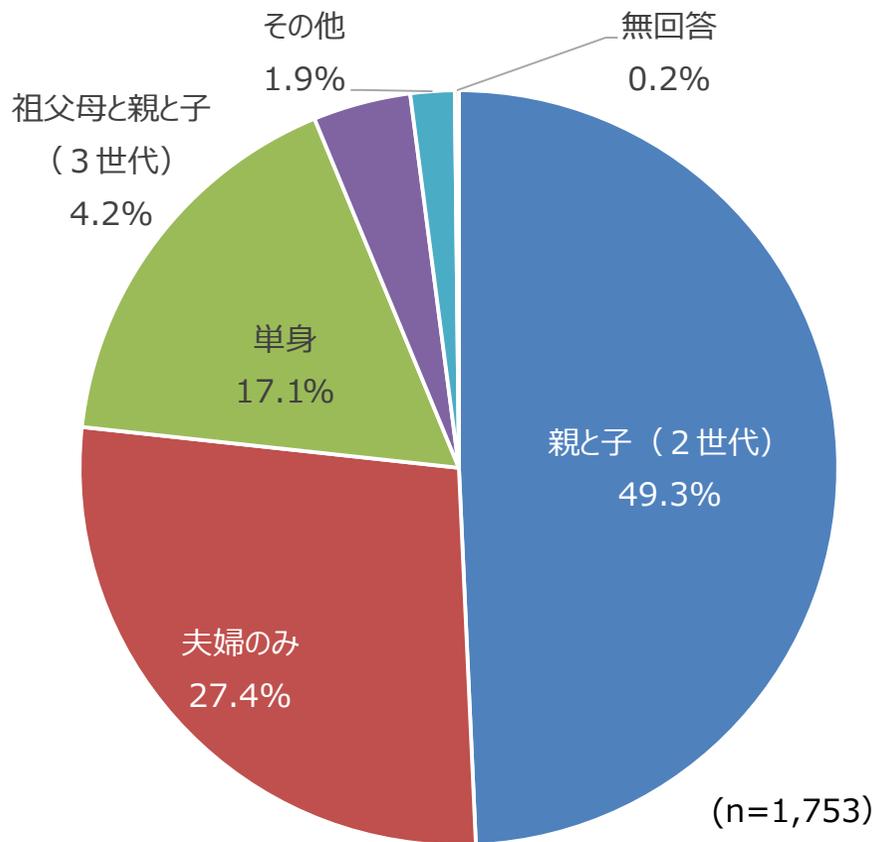


居住年数

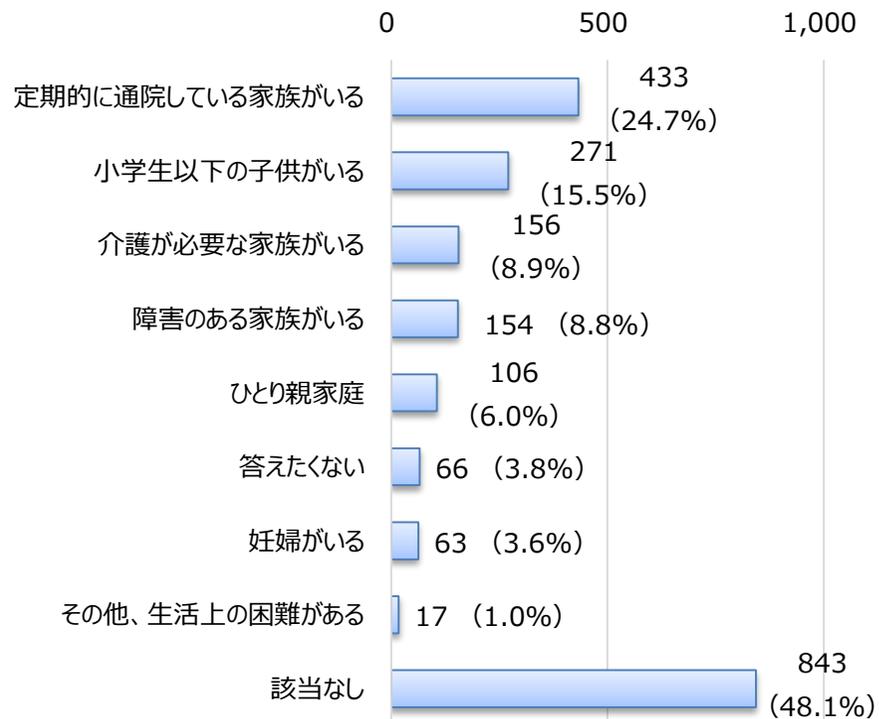




世帯状況

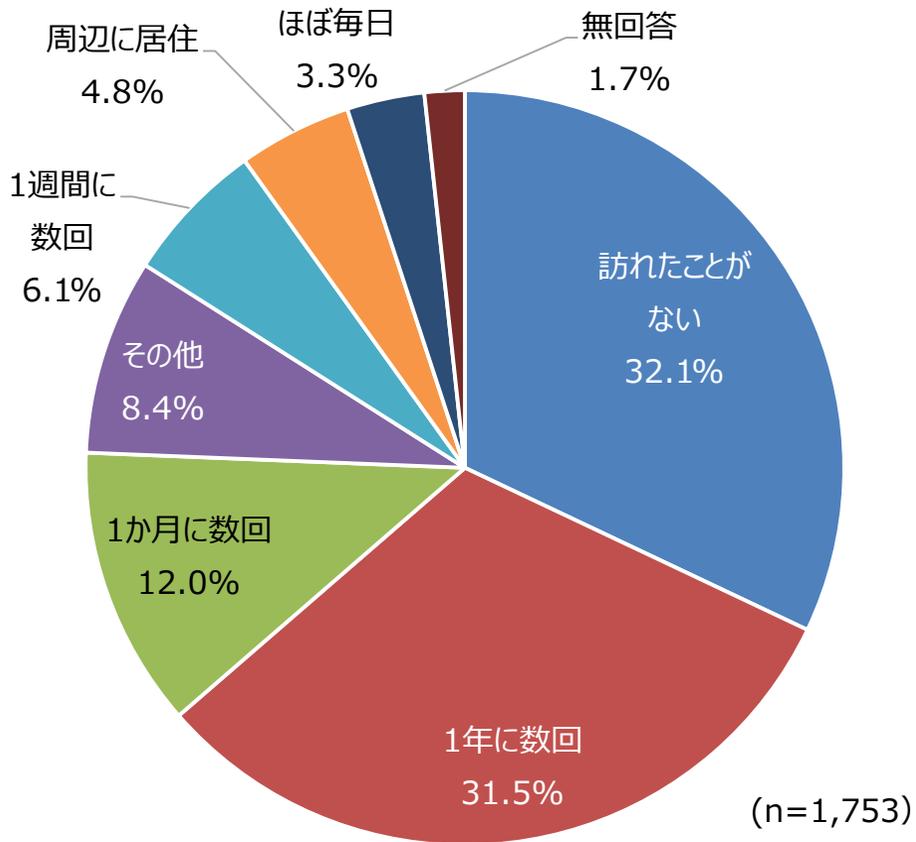


(n=1,753)

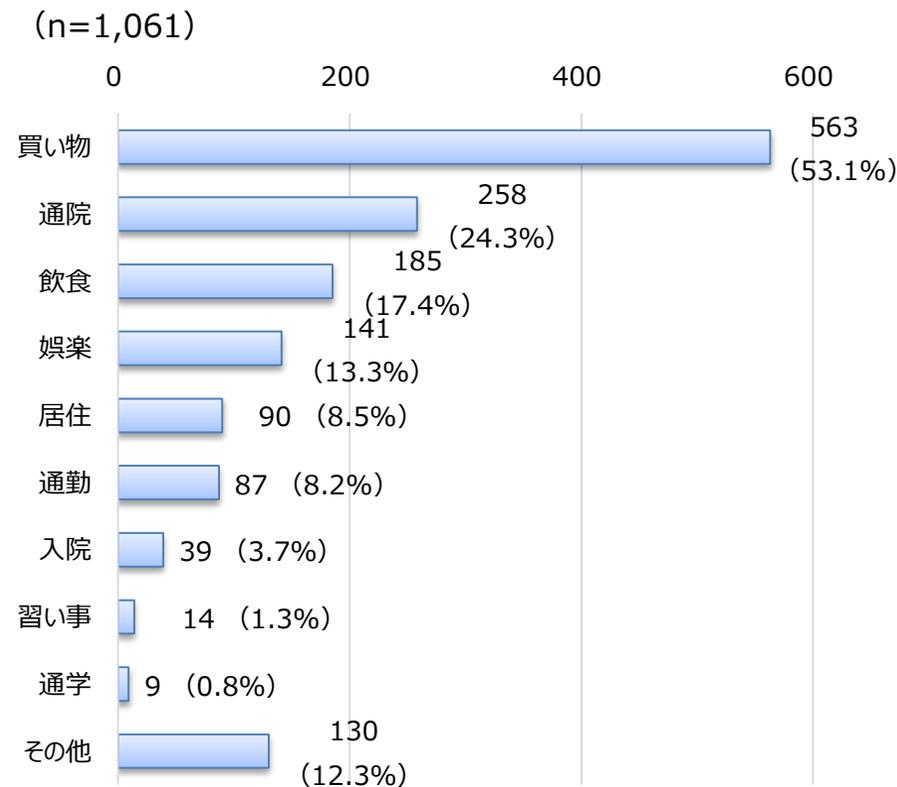


※ () は母数に対する回答数の割合を示す

訪問頻度



訪問目的 (複数回答)



※ () は母数に対する回答数の割合を示す

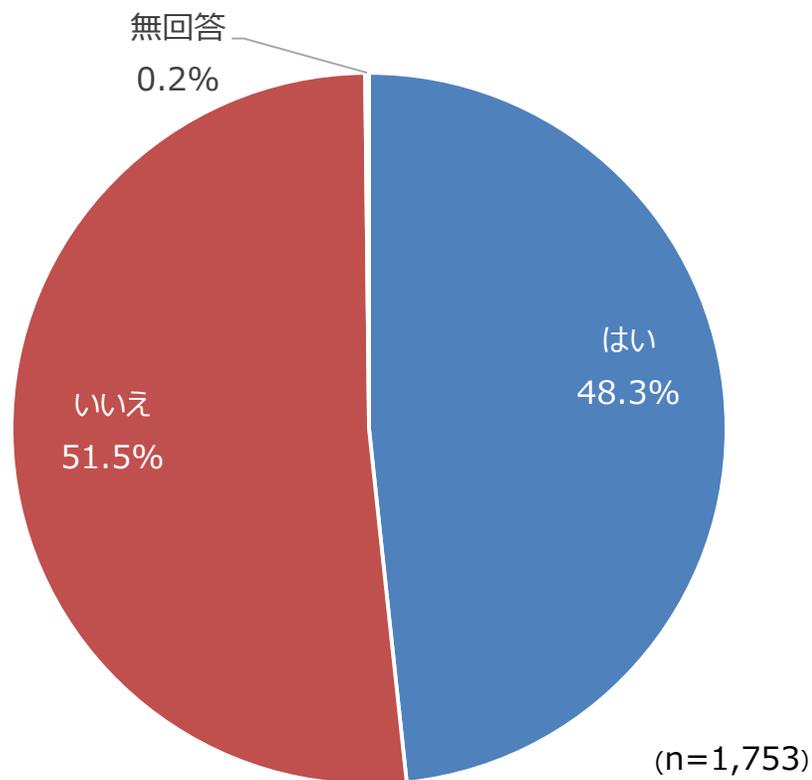


元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

アンケート結果



- 県立広島病院の移転が検討されていることを知っていたか尋ねたところ、「はい」が48.3%で、「いいえ」は51.5%であった。



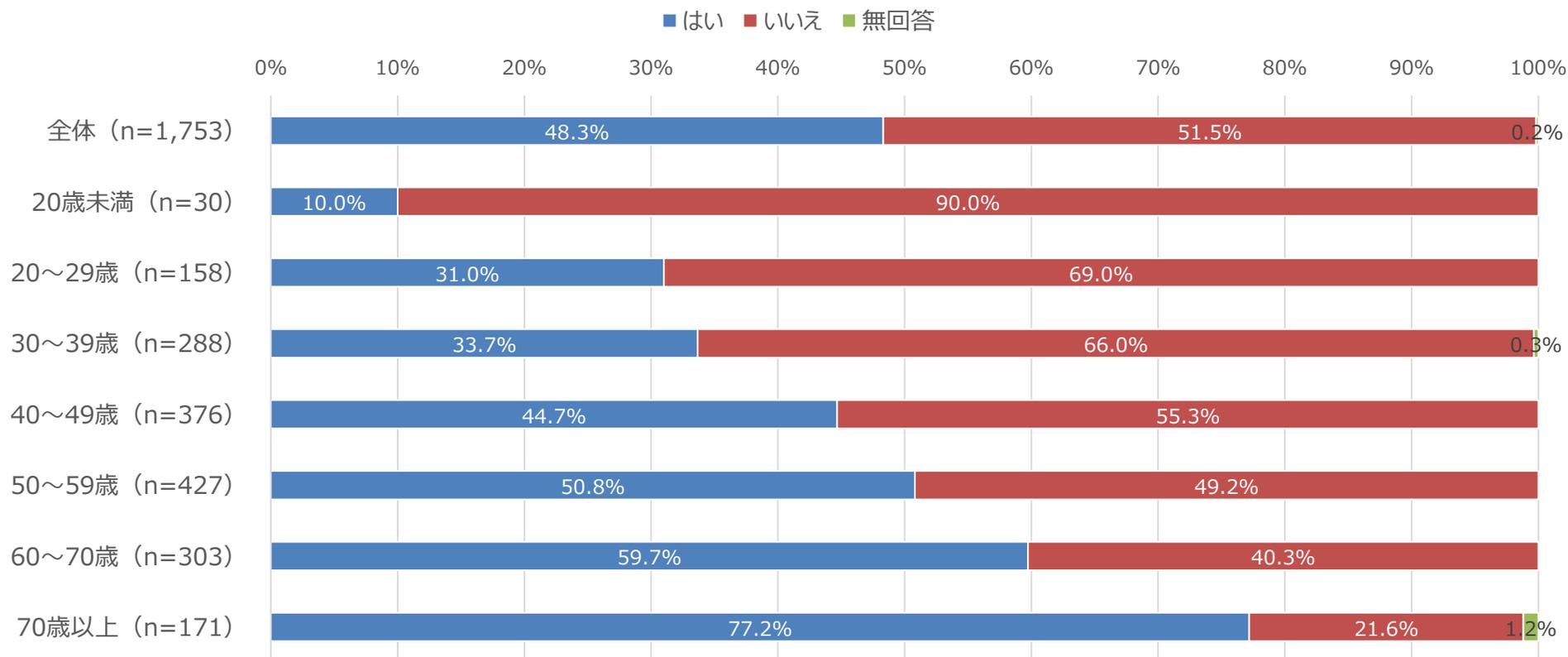
県立広島病院移転検討の認知状況（年齢別）

県全体



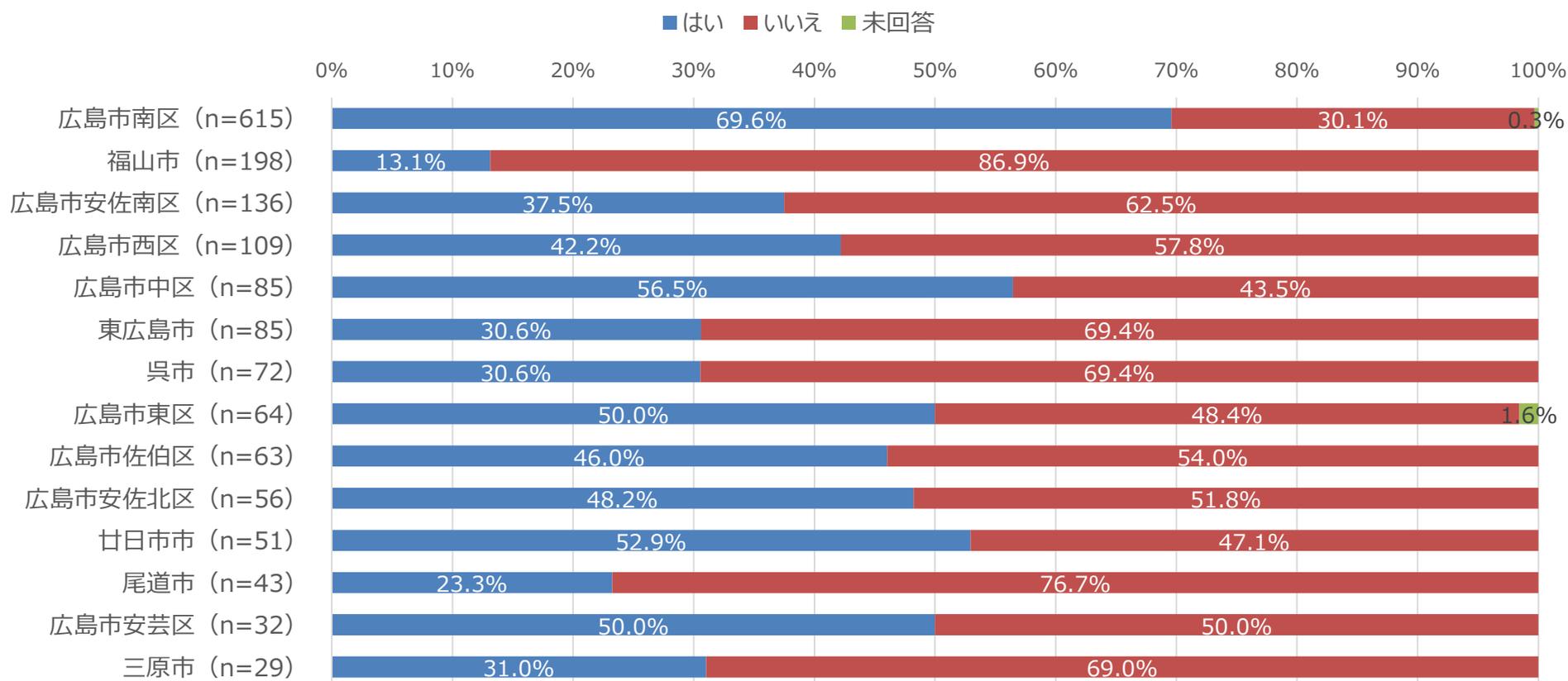
元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

- 年齢別にみると、年代が上がるにつれて認知状況は高くなっている。
- 70歳以上では「はい」の回答割合は7割を超えている。



県立広島病院移転検討の認知状況（居住地別）

- 居住地別にみると、50以上の回答があった市区町では、「はい」の回答割合は地元の南区（69.6%）のみ6割超となっており、中区（56.5%）、廿日市市（52.9%）、東区（50.0%）において、全体（48.3%）を上回っている。



(注) 20以上の回答があった市区町のみ抜粋して掲載

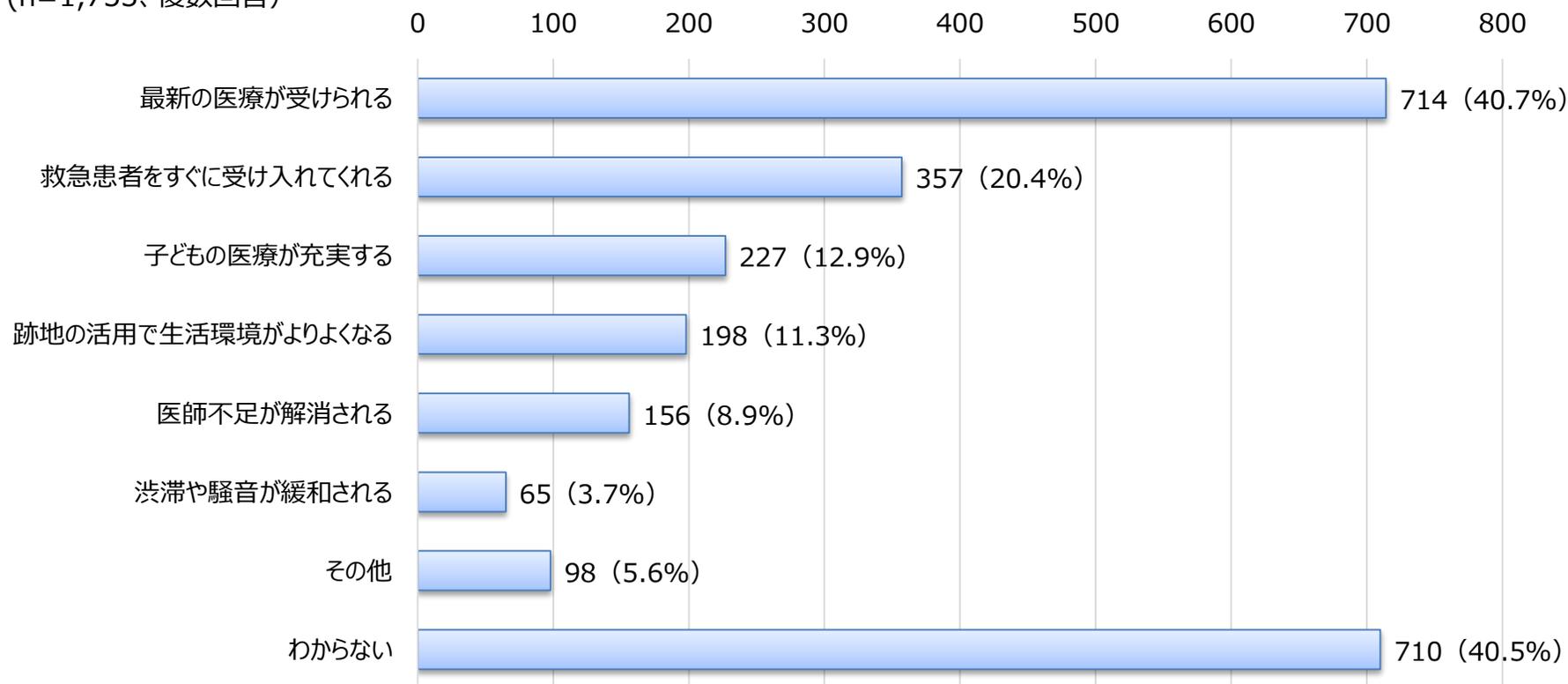
新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（良い点）

県全体



- 新病院の整備や県立広島病院の移転が、自身・家族の生活にどのような影響を与えると思うか尋ねたところ、良い点（新病院の影響）については、「最新の医療が受けられる」（714回答、40.7%）が最も多く、以下、「救急患者をすぐに受け入れてくれる」（357回答、20.4%）、「子どもの医療が充実する」（227回答、12.9%）、「跡地の活用で生活環境がよりよくなる可能性がある」（198回答、11.3%）の順となった。

(n=1,753、複数回答)

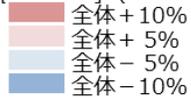


※（ ）は母数に対する回答数の割合を示す

新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（良い点）（年齢別）

- 年齢別にみると、「最新の医療が受けられる」「救急患者をすぐに受け入れてくれる」では、20歳未満を除いて全体の回答割合と比較して大きな乖離はない。
- 他方、「子どもの医療が充実する」では、若年層（20代・30代）の回答割合が全体を大きく上回っている。

[比率の差] (n=30以上)



		最新の医療が受けられる	救急患者をすぐに受け入れてくれる	子どもの医療が充実する	医師不足が解消される	跡地の活用で生活環境がよりよくなる可能性がある	渋滞や騒音が緩和される	その他	わからない
全体（年齢）	1,753	40.7	20.4	12.9	8.9	11.3	3.7	5.6	40.5
20歳未満	30	50.0	36.7	13.3	10.0	20.0	10.0	0	30.0
20～29歳	158	41.1	20.9	22.2	8.2	11.4	7.0	0.6	43.0
30～39歳	288	44.1	24.0	21.9	11.5	13.5	2.8	1.7	39.9
40～49歳	376	43.1	21.5	14.6	6.4	13.6	1.6	4.5	38.8
50～59歳	427	38.6	17.1	7.5	7.3	9.4	3.7	5.9	46.1
60～70歳	303	38.3	17.8	8.9	10.9	10.6	4.6	10.6	40.6
70歳以上	171	37.4	21.1	6.4	11.1	7.0	4.1	10.5	30.4

新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（良い点）（居住地別）



- 居住地別にみると、南区では「わからない」を除いて全体の回答割合との乖離はない。

	[比率の差] (n=30以上)	居住地別							
		最新の医療が受けられる	救急患者をすぐに受け入れてくれる	子どもの医療が充実する	医師不足が解消される	跡地の活用で生活環境がよりよくなる可能性がある	渋滞や騒音が緩和される	その他	わからない
全体（居住地）	1,753	40.7	20.4	12.9	8.9	11.3	3.7	5.6	40.5
広島市南区	615	40.0	22.1	11.5	8.5	10.1	3.6	7.8	33.7
福山市	198	28.8	9.6	8.1	6.1	6.1	2.5	3.5	60.6
広島市安佐南区	136	45.6	22.1	20.6	8.8	8.8	4.4	4.4	41.2
広島市西区	109	46.8	22.9	17.4	10.1	14.7	4.6	4.6	38.5
広島市中区	85	42.4	23.5	10.6	14.1	17.6	5.9	4.7	32.9
東広島市	85	55.3	21.2	22.4	10.6	17.6	3.5	3.5	38.8
呉市	72	31.9	9.7	9.7	6.9	11.1	1.4	4.2	54.2
広島市東区	64	45.3	29.7	17.2	9.4	12.5	1.6	3.1	39.1
広島市佐伯区	63	46.0	30.2	19.0	14.3	12.7	4.8	6.3	34.9
広島市安佐北区	56	48.2	28.6	14.3	16.1	12.5	3.6	5.4	37.5
廿日市市	51	37.3	17.6	11.8	3.9	3.9	2.0	7.8	45.1
尾道市	43	44.2	14.0	14.0	4.7	11.6	2.3	4.7	44.2
広島市安芸区	32	53.1	34.4	9.4	15.6	25.0	6.3	0.0	34.4

(注) 30以上の回答があった市区町を抜粋して掲載

新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（良い点）（その他意見）

＜その他寄せられた主な意見（抜粋）＞ ※設問に対して異なるご意見は末頁にまとめて記載している

◆交通面の良い点

- 宇品より近くなって利用しやすそう
- 通院に便利になる
- JRを利用して通院するのに便利になる
- 新幹線を利用すると便利そう
- 新病院が広島駅近くで通院に便利になる

◆医療面の良い点

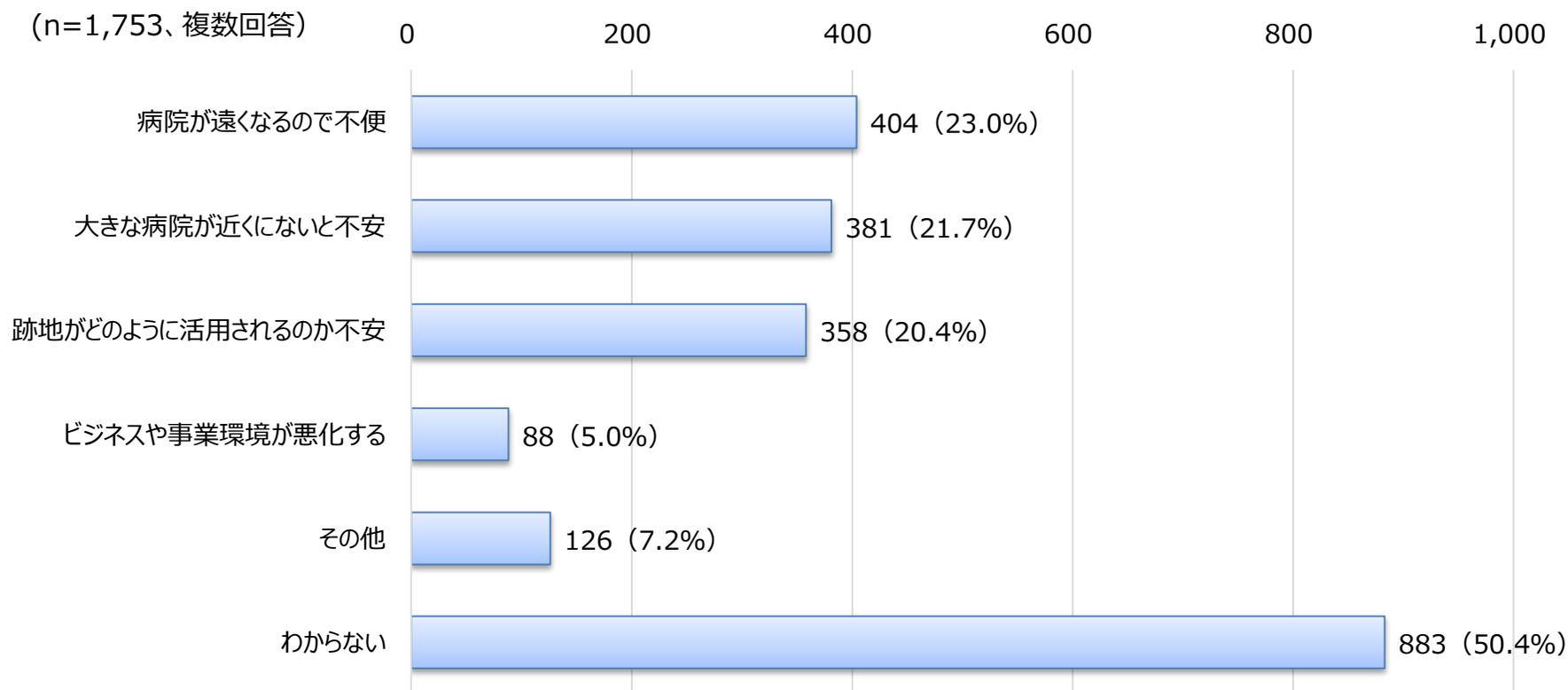
- 検査のために他の病院へ行くといったスポット的なものがなくなり、1か所で全部診てもらえるようになる
- 高度な医療が受けられそう

◆その他の良い点

- （新病院移転は）南海トラフ対策としては効果的
- 病院が少し近くなるのでいざというとき安心

新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（心配される点）（その他意見）

- 新病院の整備や県立広島病院の移転が、自身・家族の生活にどのような影響を与えると思うか尋ねたところ、心配される点（県立広島病院移転の影響）については、「わからない」（883回答、50.4%）が最も高く、以下、「病院が遠くなるので不便」（404回答、23.0%）、「大きな病院が近くにないと不安」（381回答、21.7%）の順となった。



※（ ）は母数に対する回答数の割合を示す

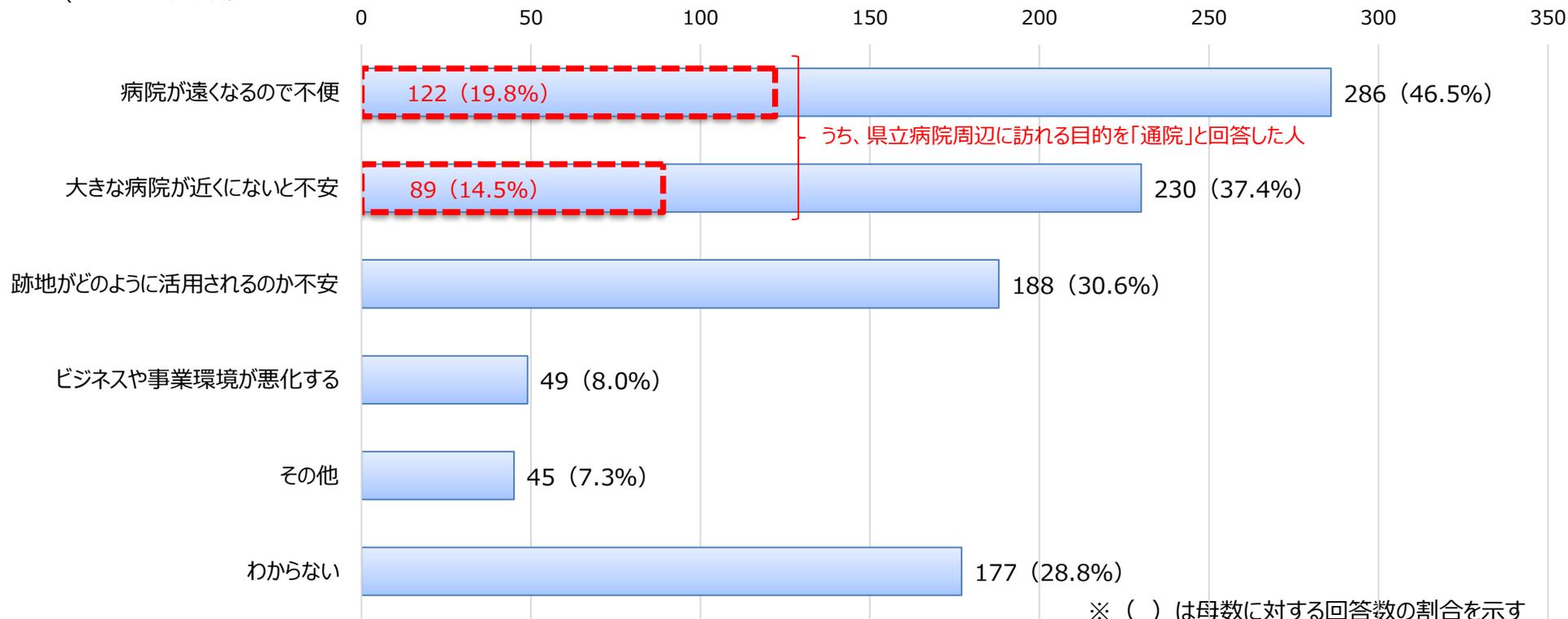
新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（心配される点）

南区のみ



- 南区の住民に新病院の整備や県立広島病院の移転が、自身・家族の生活にどのような影響を与えると思うか尋ねたところ、心配される点（県立広島病院移転の影響）については、「病院が遠くなるので不便」（286回答、46.5%）が最も高く、以下、「大きな病院が近くにないと不安」（230回答、37.4%）、「跡地がどのように活用されるのか不安」（188回答、30.6%）の順となった。また、主に県立広島病院周辺を訪れる目的が「通院」の南区の住民で、「病院が遠くなるので不便」・「大きな病院が近くにないと不安」と回答された方は、いずれも母数の2割程度となった。

(n=615、複数回答)





新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（心配される点）（年齢別）

- 年齢別にみると、「病院が遠くなるので不便」「大きな病院が近くにないと不安」で、70歳以上の回答割合が全体を大きく上回っている。

[比率の差] (n=30以上)



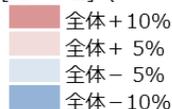
		病院が遠くなるので不便	大きな病院が近くにないと不安	ビジネスや事業環境が悪化する	跡地がどのように活用されるのか不安	その他	わからない
全体（年齢）	1,753	23.0	21.7	5.0	20.4	7.2	50.4
20歳未満	30	10.0	26.7	6.7	13.3	0.0	60.0
20～29歳	158	19.6	20.9	3.8	19.0	0.6	50.6
30～39歳	288	19.4	19.1	7.6	17.7	4.9	54.5
40～49歳	376	21.0	20.5	5.6	21.8	4.5	49.7
50～59歳	427	19.0	18.0	3.0	18.3	6.8	57.4
60～70歳	303	27.7	23.1	4.0	21.1	10.9	48.5
70歳以上	171	40.9	35.7	7.0	28.7	18.7	28.7

新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（心配される点）（居住地別）



- 上位3項目について居住地別にみると、「病院が遠くなるので不便」「大きな病院が近くにないと不安」「跡地がどのように活用されるのか不安」はいずれも広島市南区が、全体を上回っている。

[比率の差] (n=30以上)



		病院が遠くなるので不便	大きな病院が近くにないと不安	ビジネスや事業環境が悪化する	跡地がどのように活用されるのか不安	その他	わからない
全体（居住地）	1,753	23.0	21.7	5.0	20.4	7.2	50.4
広島市南区	615	46.5	37.4	8.0	30.6	7.3	28.8
福山市	198	6.1	7.6	1.0	4.5	5.1	78.8
広島市安佐南区	136	7.4	14.7	5.1	17.6	6.6	56.6
広島市西区	109	11.9	18.3	5.5	24.8	3.7	55.0
広島市中区	85	22.4	25.9	4.7	23.5	9.4	49.4
東広島市	85	7.1	5.9	3.5	16.5	3.5	70.6
呉市	72	5.6	12.5	2.8	12.5	6.9	61.1
広島市東区	64	9.4	10.9	4.7	18.8	7.8	60.9
広島市佐伯区	63	9.5	9.5	4.8	14.3	11.1	58.7
広島市安佐北区	56	16.1	10.7	3.6	19.6	7.1	51.8
廿日市市	51	9.8	7.8	0.0	13.7	9.8	62.7
尾道市	43	7.0	14.0	2.3	9.3	11.6	72.1
広島市安芸区	32	15.6	25.0	3.1	12.5	6.3	50.0

(注) 30以上の回答があった市区町を抜粋して掲載



<その他寄せられた主な意見（抜粋）> ※設問に対して異なるご意見は末頁にまとめて記載している

◆距離的（アクセス面の）不安

- 駅周辺の混雑や、患者の待ち時間の延長、場合によっては通院のしづらさが出る
- 能美島に住む親戚や知人もみな県病院に行っていたが、移転すると遠く時間もかかり島からの年寄りはとても不便になると思う
- （新病院整備により）駅周辺の道が益々混みそう

◆医療に関する不安

- 県病院に通院している親の負荷が増える。県病院を軸にした周辺の病院や診療所のネットワークが崩れる
- 多くの機能が新病院に移転することは、感染症・災害等に見舞われたとき、医療体制に甚大な影響を及ぼすことが予想される
- 公立民間あわせて1か所に大病院をつくることへの不安。市民にとっては近くの総合病院がなくなる
- 県病院で受けている診療が継続できなくなるのではと不安がある。営利目的の個人病院では総合的な診察や専門外の治療ができず、たらい回しになってしまうことが懸念される（経験有）
- 県立広島病院で長年治療を受けている人は、同じ治療がどこで受けられるのか不安
- 地域の医療体制が低下する
- 二次三次救急が居住地になくなると対応が遅れると思う
- 急患の搬送に時間がかかり救命や治療に影響する

◆その他の心配される点

- 住居の資産価値下落
- 跡地が必ずしも地域の実情にあった施設ができるかどうかは住民の意見よりも自治体や議会等の意見に振り回される恐れが強い

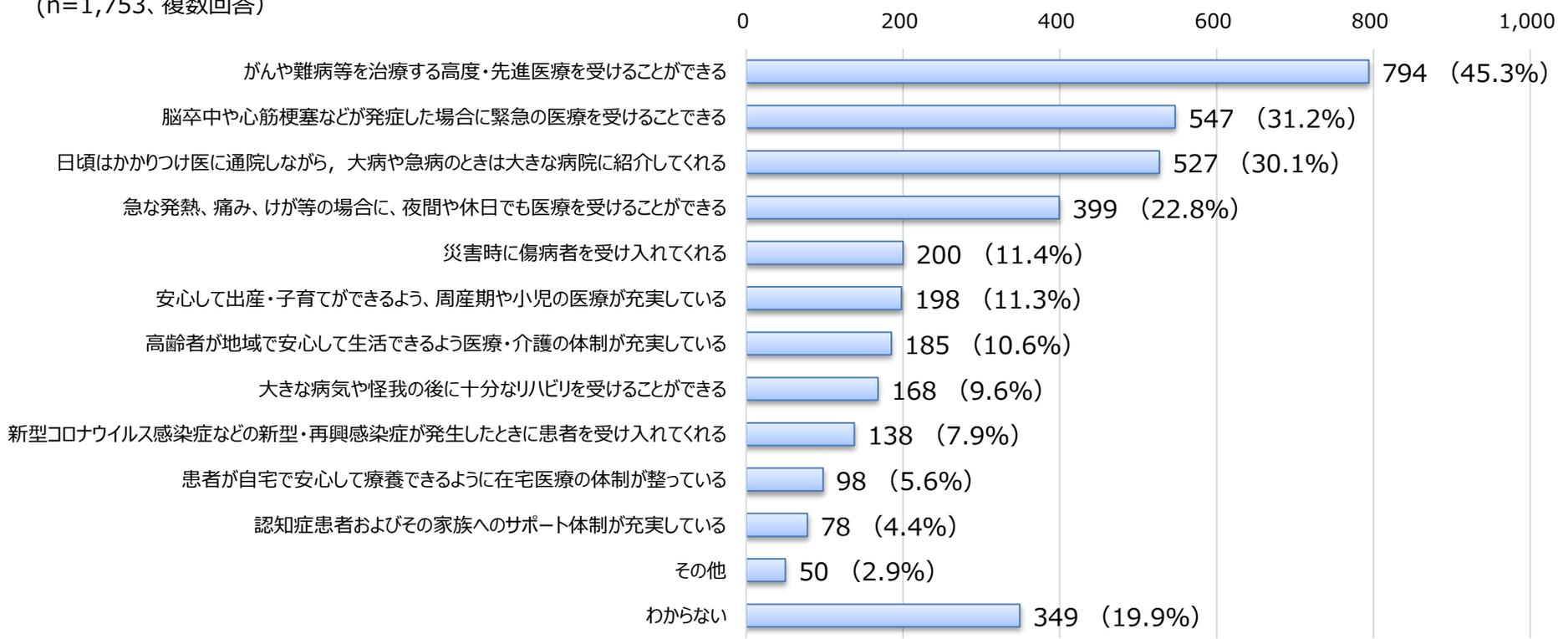
県立広島病院移転後に受けられるとよい医療環境（その他意見）

県全体



- 仮に、県立広島病院が移転した場合でも、どのような医療を受けられる環境があれば良いと思うか尋ねたところ、「がんや難病等を治療する・・・」（794回答、45.3%）が最も高く、以下、「脳卒中や心筋梗塞など・・・」（547回答、31.2%）、「日頃はかかりつけ医に通院しながら・・・」（527回答、30.1%）の順となった。

(n=1,753、複数回答)



※（ ）は母数に対する回答数の割合を示す

県立広島病院移転後に受けられるとよい医療環境（年齢別）

県全体



- 「日頃はかかりつけ医に・・・」では、70歳代が全体を上回るものの、総じて大きな乖離はない。
- 「急な発熱・・・」では、30歳代、20歳代が全体を上回るものの、60歳代、70歳代では大きく下回っている。

[比率の差] (n=30以上)

- 全体 + 10%
- 全体 + 5%
- 全体 - 5%
- 全体 - 10%

		がんや難病等を治療する高度・先進医療を受けることができる	脳卒中や心筋梗塞などが発症した場合に緊急の医療を受けることができる	日頃はかかりつけ医に通院しながら、大病や急病のときは大きな病院に紹介してくれる	急な発熱、痛み、けが等の場合に、夜間や休日でも医療を受けることができる	安心して出産・子育てができるよう、周産期や小児の医療が充実している	大きな病気や怪我の後に十分なリハビリを受けることができる	患者が自宅で安心して療養できるように在宅医療の体制が整っている	高齢者が自宅で安心して療養できるように在宅医療の体制が整っている	認知症患者およびその家族へのサポート体制が充実している	災害時に傷病者を受け入れてくれる	新型コロナウイルス感染症などの新型・再興感染症が発症したときに患者を受け入れてくれる	その他	わからない
全体（年齢）	1,753	45.3	31.2	30.1	22.8	11.3	9.6	5.6	10.6	4.4	11.4	7.9	2.9	19.9
20歳未満	30	26.7	30.0	20.0	43.3	13.3	13.3	10.0	6.7	6.7	33.3	10.0	0.0	16.7
20～29歳	158	38.0	22.2	27.8	31.6	20.9	12.0	10.1	5.7	3.8	15.2	7.6	0.0	21.5
30～39歳	288	49.7	24.3	27.4	29.9	20.5	10.1	5.9	5.9	3.5	11.8	5.9	1.0	21.2
40～49歳	376	47.9	35.4	31.1	23.9	13.0	10.9	6.1	7.7	3.5	13.6	7.7	1.6	19.1
50～59歳	427	45.4	32.8	30.0	19.4	5.4	8.0	4.0	12.4	7.7	10.5	9.1	2.8	23.2
60～70歳	303	47.9	35.3	30.7	16.2	8.3	9.9	3.0	13.2	1.7	8.3	8.3	4.6	19.1
70歳以上	171	37.4	31.0	35.1	16.4	2.9	6.4	7.6	20.5	5.3	6.4	7.6	8.8	11.7

県立広島病院移転後に受けられるとよい医療環境（居住地別）

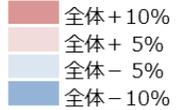
県全体



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

- 上位3項目について居住地別にみると、「がんや難病等を治療する・・・」では安芸区、安佐北区が、「脳卒中や心筋梗塞など・・・」では西区、東区が、「日頃はかかりつけ医に通院しながら・・・」では東区、佐伯区が全体を上回っている。

[比率の差] (n=30以上)



	がんや難病等を治療する高度・先進医療を受けることができる	脳卒中や心筋梗塞などが発症した場合に緊急の医療を受けることができる	日頃はかかりつけ医に通院しながら、大病や急病のときは大きな病院に紹介してくれる	急な発熱、痛み、けが等の場合に、夜間や休日でも医療を受けることができる	安心して出産・子育てができるよう、周産期や小児の医療が充実している	大きな病気や怪我の後に十分なリハビリを受けることができる	患者が自宅で安心して療養できるように在宅医療の体制が整っている	高齢者が自宅で安心して療養できるように在宅医療の体制が整っている	認知症患者およびその家族へのサポート体制が充実している	災害時に傷病者を受け入れてくれる	新型コロナウイルス感染症などの新型・再興感染症が発症したときに患者を受け入れてくれる	その他	わからない	
全体（居住地）	1,753	45.3	31.2	30.1	22.8	11.3	3.7	5.6	40.5	4.4	11.4	7.9	2.9	19.9
広島市南区	615	42.1	35.6	34.0	29.4	10.1	3.6	7.8	33.7	4.7	8.3	7.3	4.4	14.0
福山市	198	41.4	20.2	23.2	15.2	6.1	2.5	3.5	60.6	4.5	13.1	7.1	1.0	34.8
広島市安佐南区	136	45.6	33.1	33.1	19.9	8.8	4.4	4.4	41.2	3.7	15.4	5.9	0.7	22.8
広島市西区	109	46.8	40.4	31.2	22.0	14.7	4.6	4.6	38.5	2.8	13.8	10.1	1.8	12.8
広島市中区	85	47.1	27.1	32.9	27.1	17.6	5.9	4.7	32.9	4.7	10.6	11.8	5.9	15.3
東広島市	85	51.8	29.4	28.2	16.5	17.6	3.5	3.5	38.8	4.7	14.1	10.6	0.0	21.2
呉市	72	47.2	23.6	19.4	13.9	11.1	1.4	4.2	54.2	5.6	8.3	4.2	0.0	31.9
広島市東区	64	48.4	43.8	34.4	28.1	12.5	1.6	3.1	39.1	3.1	9.4	6.3	4.7	14.1
広島市佐伯区	63	49.2	23.8	36.5	23.8	12.7	4.8	6.3	34.9	3.2	9.5	9.5	3.2	15.9
広島市安佐北区	56	57.1	41.1	30.4	16.1	12.5	3.6	5.4	37.5	5.4	17.9	10.7	3.6	12.5
廿日市市	51	47.1	27.5	25.5	31.4	3.9	2.0	7.8	45.1	3.9	15.7	5.9	3.9	21.6
尾道市	43	51.2	27.9	20.9	11.6	11.6	2.3	4.7	44.2	4.7	9.3	9.3	0.0	34.9
広島市安芸区	32	62.5	31.3	34.4	18.8	25.0	6.3	0.0	34.4	3.1	18.8	6.3	0.0	12.5



＜その他寄せられた主な意見（抜粋）＞ ※設問に対して異なるご意見は末頁にまとめて記載している

◆機能面の意見

- ・ 緩和医療が受けられる
- ・ 重度の慢性疾患の患者を長期的にケアしてくれる
- ・ 回復期を担う病床が充分にある
- ・ 肺炎、骨折、脳梗塞、心不全、腹痛、熱中症、けがなどの普通の病気やけがで入院治療が出来る
- ・ 急な体調不良など受け入れてもらえる総合病院
- ・ 一つの科ではなく、複数の科にかかることができる総合病院
- ・ 災害、感染症等にも対応できる医療複数の病気を持つ中高年者を複数の専門医がチームで診療する機能を持つ病院
- ・ 南区内にある医療機関、個人病院と密な連携がある。小児の急変に対応できる

◆体制面の意見

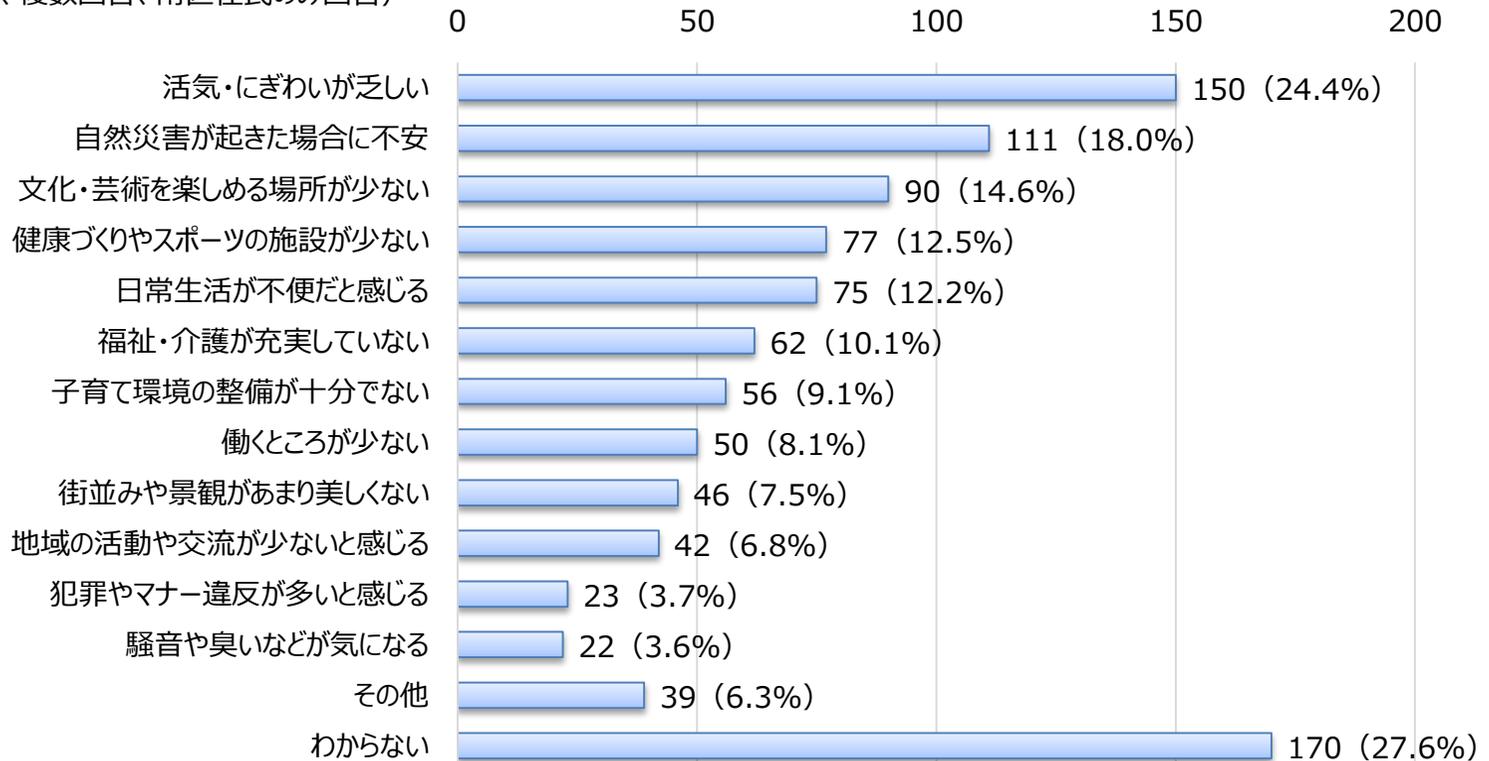
- ・ 必要な経過観察がこれまで同様に継続的に受けられる
- ・ 待ち時間が少ない
- ・ すぐ満床にならない
- ・ 県内の重症患者が安心して受診できる体制
- ・ 入院施設が整っている
- ・ 今まで通りの治療が受けられる病院

◆その他の意見

- ・ 患者に寄り添い自分の考えを押し付けない治療

- **広島市南区の居住者**に、県立広島病院に周辺について、まちづくりの観点から何が課題だと思うが尋ねたところ、「わからない」のが170回答（27.6%）と最も多く、以下、「活気・にぎわいが乏しい」（150回答、24.4%）、「自然災害が起きた場合に不安」（111回答、18.0%）、「文化・芸術を楽しめる施設が少ない」（90回答、14.6%）の順となった。

(n=615、複数回答、南区住民のみ回答)



※（ ）は母数に対する回答数の割合を示す

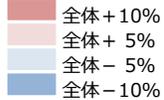
県立広島病院周辺におけるまちづくりの課題（年齢別）

南区のみ



• 年齢別にみると、「活気・にぎわいが乏しい」では、70歳以上の回答割合が全体を下回っているのが目立つが、総じて大きな乖離は見られない。他方、「自然災害が起きた場合に不安」では、特に70歳以上で全体を大きく上回っている。また、「文化・芸術を楽しめる施設が少ない」でも、70歳以上で全体を上回っているのが目立つが、総じて大きな乖離は見られない。

[比率の差] (n=30以上)



	日常生活が不便だと感じる	活気・にぎわいが乏しい	働くところが少ない	福祉・介護が充実していない	健康づくりやスポーツの施設が少ない	子育て環境の整備が十分でない	文化・芸術を楽しめる場所が少ない	地域の活動や交流が少ないと感じる	自然災害が起きた場合に不安	犯罪やマナー違反が多いと感じる	騒音や臭いなどが気になる	街並みや景観があまり美しくない	その他	わからない	
全体（年齢）	615	12.2	24.4	8.1	10.1	12.5	9.1	14.6	6.8	18.0	3.7	3.6	7.5	6.3	27.6
20歳未満	6	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3
20～29歳	45	13.3	20.0	6.7	8.9	13.3	13.3	11.1	15.6	20.0	8.9	8.9	0.0	2.2	28.9
30～39歳	80	12.5	27.5	10.0	7.5	16.3	17.5	15.0	5.0	17.5	3.8	6.3	2.5	1.3	26.3
40～49歳	128	14.1	28.9	13.3	10.9	9.4	11.7	12.5	3.1	11.7	6.3	4.7	8.6	5.5	29.7
50～59歳	161	11.2	22.4	6.8	8.7	11.2	5.6	13.7	6.2	18.0	2.5	1.2	9.9	6.8	30.4
60～70歳	112	9.8	25.9	7.1	12.5	12.5	7.1	14.3	8.0	17.9	2.7	2.7	10.7	8.9	26.8
70歳以上	83	13.3	19.3	1.2	12.0	15.7	3.6	21.7	9.6	28.9	1.2	2.4	4.8	10.8	20.5

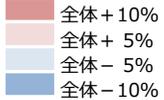
県立広島病院周辺におけるまちづくりの課題（訪問頻度別）

南区のみ



- 訪問頻度別にみると、「活気・にぎわいが乏しい」では1か月に数回の回答割合が全体を大きく上回るものの、それ以上の訪問頻度では総じて全体を下回っている。他方、「自然災害が起きた場合に不安」では、周辺に居住で全体を上回っているのが目立つ。また、「文化・芸術を楽しめる施設が少ない」では、ほぼ毎日で全体を下回っているが目立つが、総じて大きな乖離は見られない。

【比率の差】(n=30以上)



	日常生活が不便と感じる	活気・にぎわいが乏しい	働くところが少ない	福祉・介護が充実していない	健康づくりやスポーツの施設が少ない	子育て環境の整備が十分でない	文化・芸術を楽しめる場所が少ない	地域の活動や交流が少ないと感じる	自然災害が起きた場合に不安	犯罪やマナー違反が多いと感じる	騒音や臭いなどが気になる	街並みや景観があまり美しくない	その他	わからない	
全体（訪問頻度）	615	12.2	24.4	8.1	10.1	12.5	9.1	14.6	6.8	18.0	3.7	3.6	7.5	6.3	27.6
無回答	23	8.7	17.4	0.0	17.4	21.7	4.3	13.0	4.3	8.7	0.0	17.4	0.0	8.7	21.7
周辺に居住	79	6.3	15.2	11.4	16.5	13.9	13.9	19.0	8.9	25.3	6.3	1.3	5.1	6.3	24.1
ほぼ毎日	45	15.6	22.2	11.1	15.6	20.0	13.3	8.9	8.9	17.8	8.9	4.4	6.7	8.9	11.1
1週間に数回	75	22.7	24.0	9.3	12.0	9.3	12.0	13.3	5.3	18.7	8.0	4.0	5.3	8.0	18.7
1か月に数回	133	9.0	34.6	10.5	12.0	12.8	7.5	19.5	9.8	18.0	2.3	6.8	12.8	9.8	16.5
1年に数回	159	13.2	25.2	5.0	5.7	10.7	8.2	12.6	3.8	17.0	2.5	0.0	7.5	3.8	35.2
その他	27	18.5	37.0	7.4	3.7	11.1	11.1	18.5	11.1	25.9	0.0	11.1	11.1	0.0	25.9
訪れたことがない	74	8.1	13.5	6.8	4.1	10.8	4.1	9.5	5.4	12.2	1.4	0.0	4.1	4.1	56.8

県立広島病院周辺におけるまちづくりの課題（訪問目的別）

南区のみ



- 訪問目的別にみると、「活気・にぎわいが乏しい」では買い物、飲食の回答割合が全体を上回っている。他方、「自然災害が起きた場合に不安」では、居住、入院、通勤で全体を上回っている。また、「文化・芸術を楽しめる施設が少ない」では、娯楽、通勤で全体を下回っているのが目立つ。

【比率の差】(n=30以上)
■ 全体+10%
■ 全体+5%
■ 全体-5%
■ 全体-10%

	日常生活が不便だと感じる	活気・にぎわいが乏しい	働くところが少ない	福祉・介護が充実していない	健康づくりやスポーツの施設が少ない	子育て環境の整備が十分でない	文化・芸術を楽しめる場所が少ない	地域の活動や交流が少ないと感じる	自然災害が起きた場合に不安	犯罪やマナー違反が多いと感じる	騒音や臭いなどが気になる	街並みや景観があまり美しくない	その他	わからない	
全体（訪問目的）	615	12.2	24.4	8.1	10.1	12.5	9.1	14.6	6.8	18.0	3.7	3.6	7.5	6.3	27.6
居住	85	9.4	20.0	11.8	11.8	11.8	15.3	12.9	5.9	23.5	3.5	7.1	7.1	7.1	21.2
通院	175	14.3	20.6	8.6	16.0	13.7	8.6	16.6	8.0	20.6	4.6	1.7	5.7	10.3	21.7
入院	23	8.7	17.4	17.4	17.4	13.0	13.0	17.4	21.7	26.1	8.7	0.0	4.3	17.4	13.0
通勤	54	14.8	24.1	16.7	14.8	11.1	11.1	7.4	7.4	25.9	7.4	0.0	5.6	7.4	20.4
通学	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
習い事	7	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6
買い物	283	11.3	30.4	8.5	9.9	13.1	10.6	17.7	6.7	19.1	5.7	3.5	8.8	7.8	21.2
飲食	66	12.1	33.3	7.6	7.6	21.2	10.6	18.2	9.1	22.7	4.5	4.5	7.6	9.1	10.6
娯楽	27	18.5	25.9	7.4	7.4	11.1	14.8	3.7	11.1	25.9	0.0	7.4	11.1	7.4	33.3
その他	56	10.7	26.8	5.4	7.1	7.1	5.4	16.1	5.4	21.4	1.8	1.8	10.7	14.3	21.4



＜その他寄せられた主な意見（抜粋）＞ ※設問に対して異なるご意見は末頁にまとめて記載している

◆景観面のご意見

- 景観や街並み、道路、ルートが昔から変わっていない
- 街並みや景観があまり美しくない。街並みや景観は病院だけの問題ではない

◆インフラ面のご意見

- 道が狭い。一方通行が多いなど交通状況がよくない
- 幹線道路以外は狭く、消防や警察など通りにくい

◆その他のご意見

- 県病院が移転すれば働く人も減ります活気のない地域になると思う
- 「ハザードマップ」によると、浸水の懸念がある地域であり、移転は妥当と考える

将来、県立広島病院周辺に望む環境

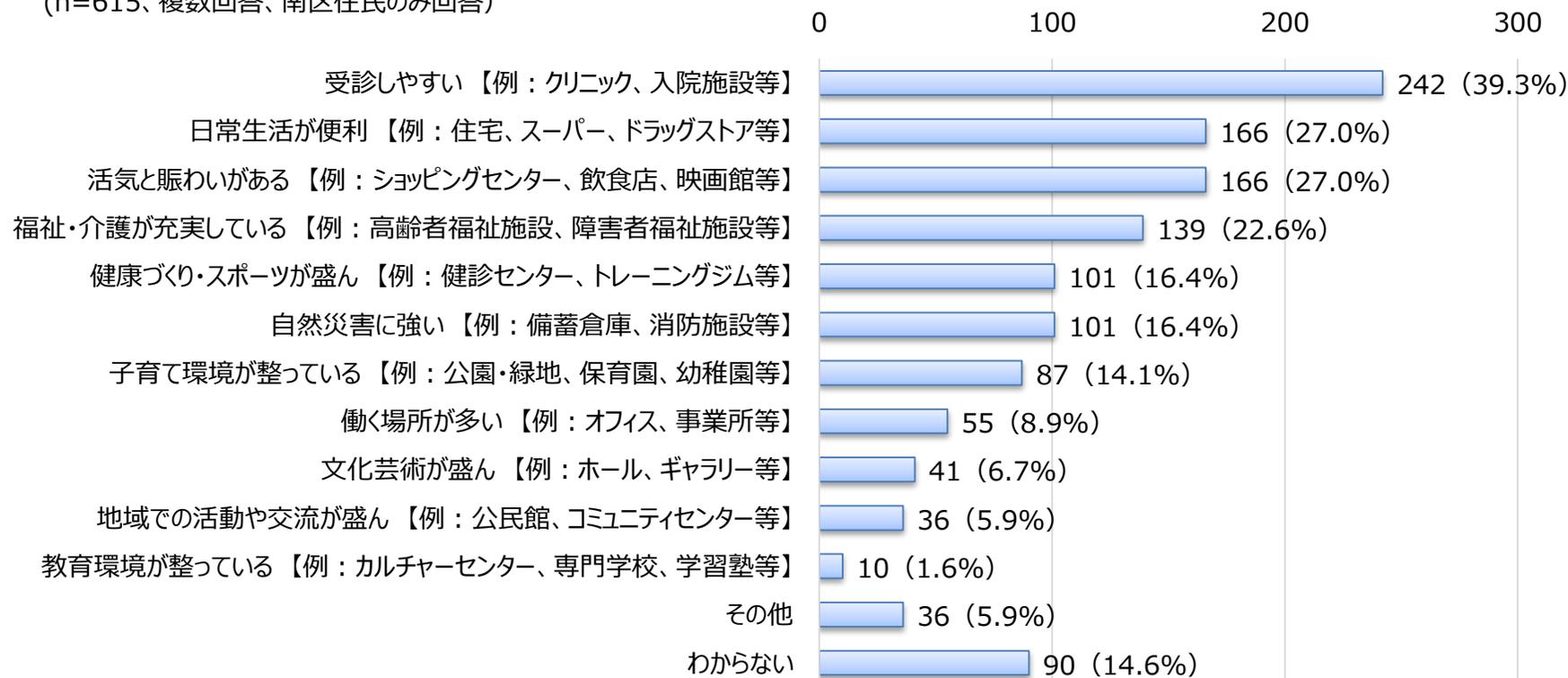
南区のみ



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

- 広島市南区の居住者**に、将来、県立広島病院周辺に望む環境を尋ねたところ、「受診しやすい」が242回答（39.3%）と最も多く、以下、「活気と賑わいがある」「日常生活が便利」（ともに166回答、27.0%）、「福祉・介護が充実している」（139回答、22.6%）の順となった。

(n=615、複数回答、南区住民のみ回答)



※（ ）は母数に対する回答数の割合を示す

将来、県立広島病院周辺に望む環境（年齢別）

南区のみ



- 年齢別にみると、「受診しやすい」では、70歳以上の回答割合が全体を上回っている。他方、「活気と賑わいがある」では、20歳代、30歳代で全体を上回っているが、60歳代、70歳以上で下回っており、「日常生活が便利」でも同様の傾向がみられる。また、「福祉・介護が充実している」では、60歳代、70歳以上で全体を上回っている一方、40歳代以下で下回っている。

	日常生活が便利【例：住宅、マンション、スーパー、ドラッグストア等】	活気と賑わいがある【例：ショッピングセンター、飲食店、映画館等】	働く場所が多い【例：オフィス、事業所等】	受診しやすい【例：クリニック、入院施設等】	福祉・介護が充実している【例：高齢者福祉施設、障害者福祉施設、通所介護施設、訪問介護施設等】	健康づくり・スポーツが盛ん【例：健診センター、体育館、運動場、プール、トレーニングジム等】	子育て環境が整っている【例：公園・緑地、保育園、幼稚園等】	教育環境が整っている【例：カルチャーセンター、専門学校、学習塾等】	文化芸術が盛ん【例：ホール、ギャラリー等】	地域での活動や交流が盛ん【例：公民館、コミュニティセンター等】	自然災害に強い【例：備蓄倉庫、消防施設等】	その他	わからない	
全体（年齢）	615	27.0	27.0	8.9	39.3	22.6	16.4	14.1	1.6	6.7	5.9	16.4	5.9	14.6
20歳未満	6	33.3	33.3	16.7	50.0	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7
20～29歳	45	40.0	33.3	15.6	35.6	17.8	8.9	31.1	6.7	2.2	4.4	11.1	0.0	11.1
30～39歳	80	36.3	35.0	17.5	40.0	7.5	11.3	18.8	0.0	6.3	1.3	15.0	2.5	20.0
40～49歳	128	27.3	29.7	11.7	40.6	12.5	20.3	17.2	3.1	7.0	3.9	16.4	4.7	13.3
50～59歳	161	28.0	27.3	8.1	33.5	24.8	18.6	6.8	1.2	9.3	6.2	20.5	2.5	13.0
60～70歳	112	18.8	26.8	3.6	40.2	32.1	17.9	15.2	0.0	5.4	7.1	13.4	8.9	17.0
70歳以上	83	19.3	10.8	1.2	48.2	39.8	13.3	7.2	1.2	4.8	9.6	18.1	16.9	13.3

将来、県立広島病院周辺に望む環境（訪問頻度別）

南区のみ



- 訪問頻度別にみると、「受診しやすい」では、周辺に居住の回答割合が全体を上回っている一方で、ほぼ毎日等では下回っている。他方、「活気と賑わいがある」では、1か月に数回で全体を上回っているが、周辺に居住等で下回っている。「日常生活が便利」では、総じて大きな乖離は見られない。「福祉・介護が充実している」では、周辺に居住等で全体を上回っているものの、総じて大きな乖離は見られない。

[比率の差] (n=30以上)		日常生活が便利【例：住宅、マンション、スーパー、ドラッグストア等】	活気と賑わいがある【例：ショッピングセンター、飲食店、映画館等】	働く場所が多い【例：オフィス、事業所等】	受診しやすい【例：クリニック、入院施設等】	福祉・介護が充実している【例：高齢者福祉施設、障害者福祉施設、通所介護施設、訪問介護施設等】	健康づくり・スポーツが盛ん【例：健診センター、体育館、運動場、プール、トレーニングジム等】	子育て環境が整っている【例：公園・緑地、保育園、幼稚園等】	教育環境が整っている【例：カルチャーセンター、専門学校、学習塾等】	文化芸術が盛ん【例：ホール、ギャラリー等】	地域での活動や交流が盛ん【例：公民館、コミュニティセンター等】	自然災害に強い【例：備蓄倉庫、消防施設等】	その他	わからない
		全体+10%	全体+5%	全体-5%	全体-10%									
全体（訪問頻度）	615	27.0	27.0	8.9	39.3	22.6	16.4	14.1	1.6	6.7	5.9	16.4	5.9	14.6
無回答	23	13.0	8.7	4.3	56.5	43.5	26.1	4.3	0.0	4.3	4.3	13.0	8.7	13.0
周辺に居住	79	30.4	20.3	7.6	46.8	27.8	16.5	19.0	0.0	2.5	10.1	17.7	6.3	7.6
ほぼ毎日	45	28.9	31.1	13.3	28.9	17.8	22.2	13.3	0.0	6.7	4.4	11.1	13.3	6.7
1週間に数回	75	28.0	30.7	13.3	40.0	20.0	10.7	17.3	2.7	9.3	8.0	18.7	8.0	9.3
1か月に数回	133	23.3	33.8	10.5	42.1	22.6	20.3	13.5	2.3	9.8	6.0	19.5	6.0	12.8
1年に数回	159	30.2	29.6	6.3	34.0	23.9	18.9	11.3	2.5	8.2	5.0	15.7	3.1	14.5
その他	27	37.0	18.5	7.4	55.6	14.8	7.4	22.2	0.0	3.7	7.4	22.2	3.7	11.1
訪れたことがない	74	21.6	18.9	8.1	32.4	16.2	6.8	13.5	1.4	1.4	1.4	10.8	4.1	37.8

将来、県立広島病院周辺に望む環境（訪問目的別）

- 訪問目的別にみると、「受診しやすい」では、居住の回答割合が全体を上回っているが、総じて大きな乖離はみられない。他方、「活気と賑わいがある」では、飲食、買い物で全体を上回っているが、居住、通院で下回っている。「日常生活が便利」では、総じて大きな乖離は見られない。「福祉・介護が充実している」では、通院で全体を大きく上回っている。

[比率の差] (n=30以上)

- 全体+10%
- 全体+5%
- 全体-5%
- 全体-10%

	日常生活が便利【例：住宅、マンション、スーパー、ドラッグストア等】	活気と賑わいがある【例：ショッピングセンター、飲食店、映画館等】	働く場所が多い【例：オフィス、事業所等】	受診しやすい【例：クリニック、入院施設等】	福祉・介護が充実している【例：高齢者福祉施設、障害者福祉施設、通所介護施設、訪問介護施設等】	健康づくりスポーツが盛ん【例：健診センター、体育館、運動場、プール、トレーニングジム等】	子育て環境が整っている【例：公園・緑地、保育園、幼稚園等】	教育環境が整っている【例：カルチャーセンター、専門学校、学習塾等】	文化芸術が盛ん【例：ホール、ギャラリー等】	地域での活動や交流が盛ん【例：公民館、コミュニティセンター等】	自然災害に強い【例：備蓄倉庫、消防施設等】	その他	わからない	
全体（訪問目的）	615	27.0	27.0	8.9	39.3	22.6	16.4	14.1	1.6	6.7	5.9	16.4	5.9	14.6
居住	85	30.6	18.8	8.2	44.7	27.1	14.1	22.4	2.4	2.4	7.1	20.0	8.2	8.2
通院	175	23.4	21.1	6.9	44.0	33.7	11.4	13.7	2.3	5.1	8.0	18.3	12.6	8.6
入院	23	13.0	21.7	8.7	34.8	34.8	13.0	13.0	0.0	4.3	8.7	17.4	30.4	4.3
通勤	54	33.3	24.1	18.5	35.2	20.4	18.5	11.1	0.0	3.7	5.6	22.2	9.3	9.3
通学	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
習い事	7	28.6	14.3	14.3	71.4	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3
買い物	283	25.1	32.9	9.9	41.0	24.4	21.9	14.1	2.1	8.1	4.6	18.4	4.2	9.9
飲食	66	27.3	45.5	12.1	36.4	19.7	22.7	18.2	4.5	13.6	4.5	16.7	6.1	3.0
娯楽	27	14.8	44.4	11.1	22.2	22.2	18.5	18.5	0.0	22.2	11.1	18.5	7.4	11.1
その他	56	23.2	21.4	1.8	32.1	25.0	21.4	14.3	0.0	10.7	8.9	19.6	12.5	10.7

将来、県立広島病院周辺に望む環境（その他意見）

＜その他寄せられた主な意見（抜粋）＞ ※設問に対して異なるご意見は末頁にまとめて記載している

◆医療に関するご意見

- ・ 専門が進んで横の連携不足。慢性疾患・リハビリの分院が欲しい。駅北まで行けない。在宅医療・訪問看護体制不十分。施設に入る人が増える
- ・ 人口から考えても総合病院必要。総合診療科や救急搬送病院

◆災害対策に関するご意見

- ・ 自然災害対応避難施設兼地域交流センター
- ・ 跡地には津波避難タワーを建ててほしい。浸水域の人が安心して避難できる所が今はない

◆その他のご意見

- ・ 自然豊か
- ・ 段原再開発みたいに、宇品地区全体を含めた検討をしてほしい
- ・ 駐車スペースの確保、今の病院はイオンの協力もあり駐車できるが、駅のほうへ移ったら病院が公共交通機関を利用し歩かないといけなくなる

その他の意見①

<新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（良い点）>

- 影響はない 類似ご意見39件
- 交通の便が向上する 類似ご意見7件
- 新病院が近くなるので安心 類似ご意見3件
- 高度な医療が受けられそう
- 職域拡大

その他の意見②

<新病院整備や県立広島病院移転が与える影響（心配される点）>

- 遠いので影響はない 類似ご意見59件
- 困る、遠くなる、不便になる 類似ご意見48件
- 新病院整備に対し良い点が見つからない、今のままが良い 類似ご意見17件
- 救急受入れやそれに伴う渋滞 類似意見7件
- 移転に対して反対 類似ご意見5件
- 移転することに対して不安、心配である 類似ご意見5件
- 現在地での医療環境の悪化
- 医療難民が発生する
- 今まで通りの治療・通院が閉ざされる。頼る所がなくなる
- 新病院になると医者レベルが上がるのか分からない
- 看護学校が大変かなと思う
- 通勤に時間がかかるようになる
- 移転すると、島しょ部の県民の医療はどう保障されるのか分からない
- いろいろな病院が統合されることにより各病院の良さがなくなる
- 医療従事者不足、患者の待ち時間増加、診療の遅延
- 現在発表されている情報で良い点はみつからない。新病院のビジョンは具体的でなく医師不足の解消や人材育成に繋がるとは思えない。医療連携も不透明
- 新病院はまだ検討段階であり、どうなるか未知数。もっと具体的に示してほしい
- 新病院の整備と県病院の移転を一緒に考えるべきではない
- 病院が集約されと万一その病院に感染等が出た場合や災害の時などに対応できる病院がなくなるのではないかと。コロナ対策でも市内の病院はみな大変だったと聞く
- 医師と看護師が増員されないと絵にかいたもちになる
- 病院はなくなったほうが良い
- 跡地について規模が小さくなくても総合病院がほしい
- 移住するときにこの病院のレベル感と通院負担を考えて居住地を選んだのに

その他の意見③

<県立広島病院移転後に受けられるとよい医療環境>

- 移転に対して反対 類似ご意見18件
- 特になし 類似ご意見5件
- 分からない 類似ご意見2件
- 近くに診療科目がそろった病院があることは安心
- かかりつけ医のレベルアップも目指して欲しい
- 仮に移転したとしても各地域に大きな病院は必要だと思う
- 長年お世話になり絆のある先生・看護師さんや事務の方々にこれからも対応いただきたい。これらが断ち切られることによる精神的ダメージが大きい
- 2005年事故で当院に入院手術。2009年頃「今後は痛みなど出た時受信を！」と言われている。この先要受診時どこに行けばいいのか？カルテの保存はあるのか？不安。データ保存と継続医療の保障を切に願いたい
- 新構想には南区の回復期病床（病院）が無く、受認できない。南区の住民に全く配慮がなく、強引な計画であり怒りを覚える
- 医療を受けない権利を守ってほしい
- 安佐市民病院の前例がある
- わざわざ自宅から遠い病院に、割り増しを取られてまで行かない
- 大病院は不便なので必要ない
- 県病院が遠くなれば自家用車で行くことに不安を感じる。たとえ介護タクシーを利用しても診察が長かかれば帰りの介護タクシーがとれると限られないからだ。弱者のことを考えてほしい
- 新たな費用をかけて移転する意味が分からない。その費用で上記の整備は全てできるのではないのか（現地で）。そのうえで、どうしてもお金を使いたいのであれば新しくどこへでも新築すればよい。それで緊急時の対応もできると思う。県病院はコロナを受け入れたと聞くと、受け入れなかった病院も多いのではないのか



その他の意見④

<県立広島病院周辺におけるまちづくりの課題>

- 特にない 類似ご意見9件
- 移転に対して反対 類似ご意見8件
- 病院が必要 類似ご意見3件
- 病院へのアクセス
- 交通手段
- 安全
- 院内に職員、患者ともに食事できる場所が無い
- 駐車場が少ない
- 静かな街
- 今の県病院で不足部分があるならば現在地での補足をするべき
- 南区、県病院があることで居住地を決める人が多い
- 南区の中心に県病院があるので住民としては安心感がある。特記すべき点が見つからない。移転することによるプラス面は少ないと思う
- 市民病院も同じ場所に建て替えている。高層の防災拠点にできる可能性もある
- 黄金山学区からだと全く交通の便がない。自家用車がないと生きていけない
- 現在の県病院をコアにして集中している中小病院・クリニック、薬局の移転、分散による医療環境の悪化
- 近隣に住んで通院してた高齢者が不便だと思う

その他の意見⑤

<将来、県立広島病院周辺に望む環境>

- 移転に対して反対 類似ご意見16件
- 特になし 類似ご意見2件
- 地域に今と変わらない総合病院が必要
- 介護職やケアマネが、看護職リハビリ職を対象にした研修に参加できる環境を希望する
- 宇品地域は他所に比べて大変便利と思う。県病院がどうしても移転してしまうなら、移転先の通院しやすさと十分な駐車場の整備をお願いしたい
- 今の病院をなくすのが前提の質問になっていないか
- 県立病院をなくさないでほしい。移転ではなく、新しい病院が必要なら新しく作ればいいのに、わざわざ統合する必要性があるのか疑問。説明が行政から全くない
- 上記が充実しても病院が無くなると住むのが不安
- 移転ありきで県立広島病院が統合された後のビジョンがないことが分かりました。ハコモノではなく本当の意味での「まちづくり」を考えてほしい
- 現在の環境で問題なし。県病院が移転することが最悪の環境悪化である。最後に、広島県は県立広島病院移転の問題については地域住民の移転反対の大多数の声を第一とし、県医師会、広島医学部の「移転ありき」の考えに合わせず、移転を断念するように心がけてもらいたい。地域住民あつての広島県であることを肝に銘じてやってもらいたい。しっかりしろ広島県！！
- 県立病院を移転させることで周辺が良い方向になるとは考えられない。移転しなくても環境は変えられると思う。住民の意見や要望は無視で進められているのはとても残念
- 例として新病院で緊急医療を受けてもすぐに退院させられる（ベッドが限られているから）、その受け皿の病院として現医療体制を保った病院を求める。子供医療は新病院だけでは対応不可と考える。国、県、市が住民目線での連携を考えてほしい。充実した医療を机上の空論にならないように十分検討頂きたい
- 設問にはないが、新病院は広島駅北側・・・「立地面」「道路網」「交通量」等どのように対処するのか。新病院の建設に伴い、医師確保が容易となることであるが、へき地医師の確保まで及ぶのか

■ アンケート結果に対する有識者講評

広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学 久保 達彦 教授

- 医療のイメージとして、急性期医療に偏りがみられる。地域の高齢化や医療提供体制の機能分化を背景に重要性が増している回復期医療やかかりつけ医との連携も含め、医療へのアクセスを包括的に捉え、戦略的に議論していく必要がある。
- アンケートで聴かれた声として、現に県病院を受診している患者に継続的な医療が提供されていくことは特に重要である。
- その実現に向けて、かかりつけ医機能にも着目しつつ地区医師会を交えて十分に検討していく必要がある。

福山市立大学都市経営学部 渡邊 一成 教授

- 今後、県立広島病院がどのようになるのかというメッセージが、すべての県民に対しては、正しく理解されていないと思われる。
- 県立広島病院のある宇品地区は、商業施設やかかりつけとなるクリニックは充足していると考えられる一方、県立広島病院移転後は回復期の病院が不足するのではないかと。
- ついては、土地の活用方針としては、周辺に緑地が不足しているため、公園の中に医療機関がある健康や疾病予防をテーマとしたゾーンとするのが望ましい。